

# 柴田熔接工作所

ブース No.8—05

柴田熔接工作所(福岡市、柴田勝紀社長)は今回のシーフードショーでフランスのジェネグラス社と、ドイツのM A J A

社(マヤ社)のフレーケアイス製水機を提案する。どちらも世界でトップシェアを競う製品だ。

その特徴として過冷却

したフレークアイスを  
フレーケア  
イスは魚を  
傷付けることなく素早く冷却し、

コストは従来製水機のわずか30%で、水の密度が軽いため輸送費も軽減。ジェネグラス社は中大型プラントが主で、M A J A社が小型機となる。

このため柴田熔接工作所が提供するフレーケアイス製水機は日産85キロタイプを提案している。特

別のアイスプラントで、日産85キロと170キロの2種類をそろえ、コンパクトな設計。この新商品の最大の特徴がHACCP

に対応したモデルであり、工具を使わずに簡単に接液部(接水部)を分解でき清掃を可能にした。使用材質もプラスチックとステンレススチールのため、非常に清潔な製水機といえる。なお、柴田熔接工作所では今回、新商品の発表会として展示期間中のご成約の方に限り「特別価格」で販売する。

一方、M A J A社では「ラヴィンプレイン」の小型製水機を提供。H Y—GEN

A J A社では「ラヴィンプレイン」の小型製水機を提供。H Y—GEN

テクノロジ



## 世界トップのフレーケ製氷機提案

日産50トンから85キロの小型機まで

クアイスを  
フレーケア  
イスは魚を  
傷付けることなく素早く冷却し、



M A J A社のフレーケアイス製氷機。

工具を使わずに接液部が分解できるHACCPに対応したモデル

もプラスチックとステンレススチールのため、非常に清潔な製水機といえる。なお、柴田熔接工作所では今回、新商品の発表会として展示期間中のご成約の方に限り「特別価格」で販売する。

▼(有)柴田熔接工作所 工場 〔福岡県大野城市仲畠2の2の43〕(電)092・501-9798